
成功事例に学ぶ中継輸送成功の秘訣

中継輸送の 取組事例集

令和2年1月
国土交通省自動車局貨物課

“現場の声”で導入し、“現場手動”で実施区間を拡充

本事例から見える中継輸送成功の秘訣

■ “現場の声”が、中継輸送を導入の決め手！

“現場主導”で中継輸送を実施！

- ・「車中泊を削減して欲しい」という“現場の声”がキッカケとなり、現場主導で中継輸送を導入。

■ “現場主導”で、中継輸送の実施区間を拡充！

- ・最初の中継輸送の区間の「兵庫」を活用して、兵庫県⇔埼玉県に、区間を拡充。更に、「埼玉」を活用して、愛知県⇔埼玉県に、運行経路も拡充。

■ フルトレーラーで、中継輸送を実施。

車両大型化との組み合わせで、更なる効率向上を追求！

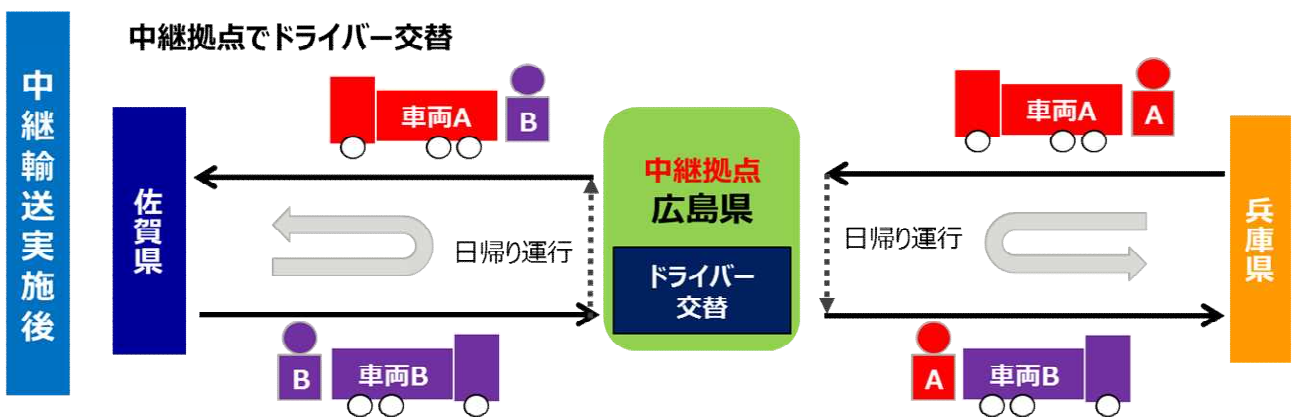
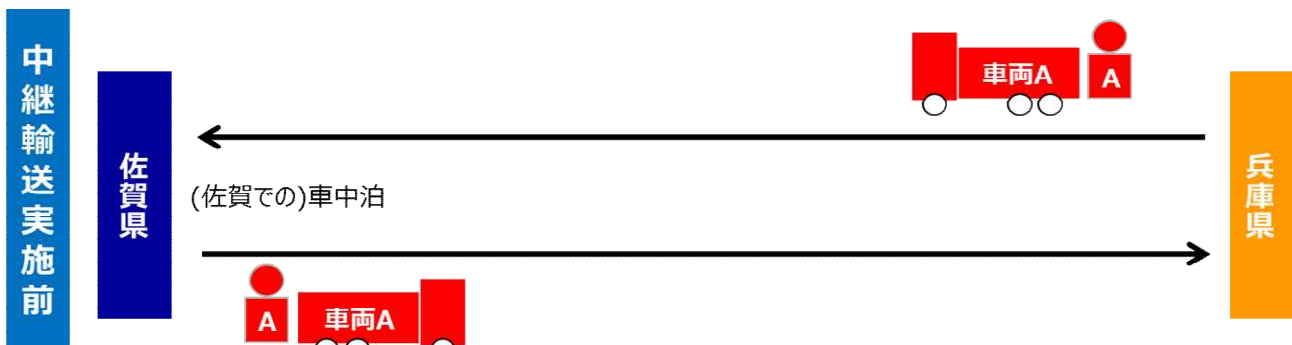
- ・兵庫県～埼玉県の運行車両を大型トラックから全長21mのフルトレーラーに変更することで輸送効率を向上させた。
大型車と比較して、燃料・道路通行費の削減、更に環境負荷低減も達成。

1. 本中継輸送の概要

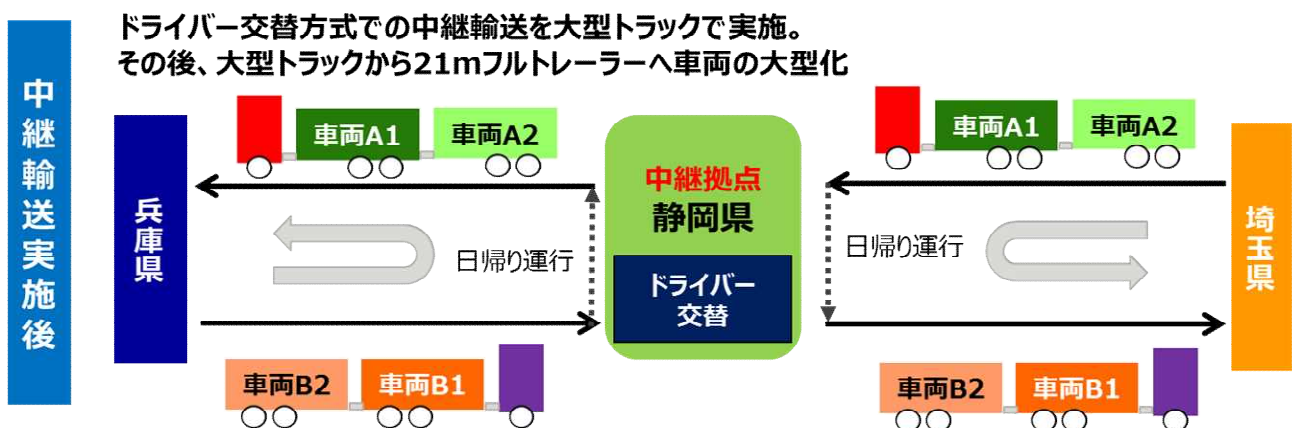
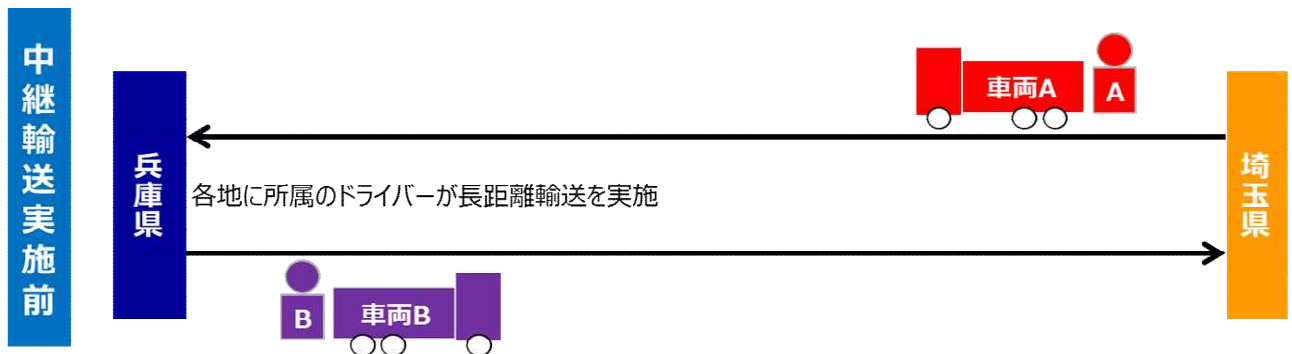
- 実施事業者：株式会社シーエックスカーゴ
- 中継方式：ドライバー交替方式
- 中継輸送経路：
 - ① 佐賀県⇔広島県⇔兵庫県
 - ② 兵庫県⇔静岡県⇔埼玉県(21mフルトレーラーによる輸送効率↑)
 - ③ 愛知県⇔静岡県⇔埼玉県

2. 中継輸送の取組み内容

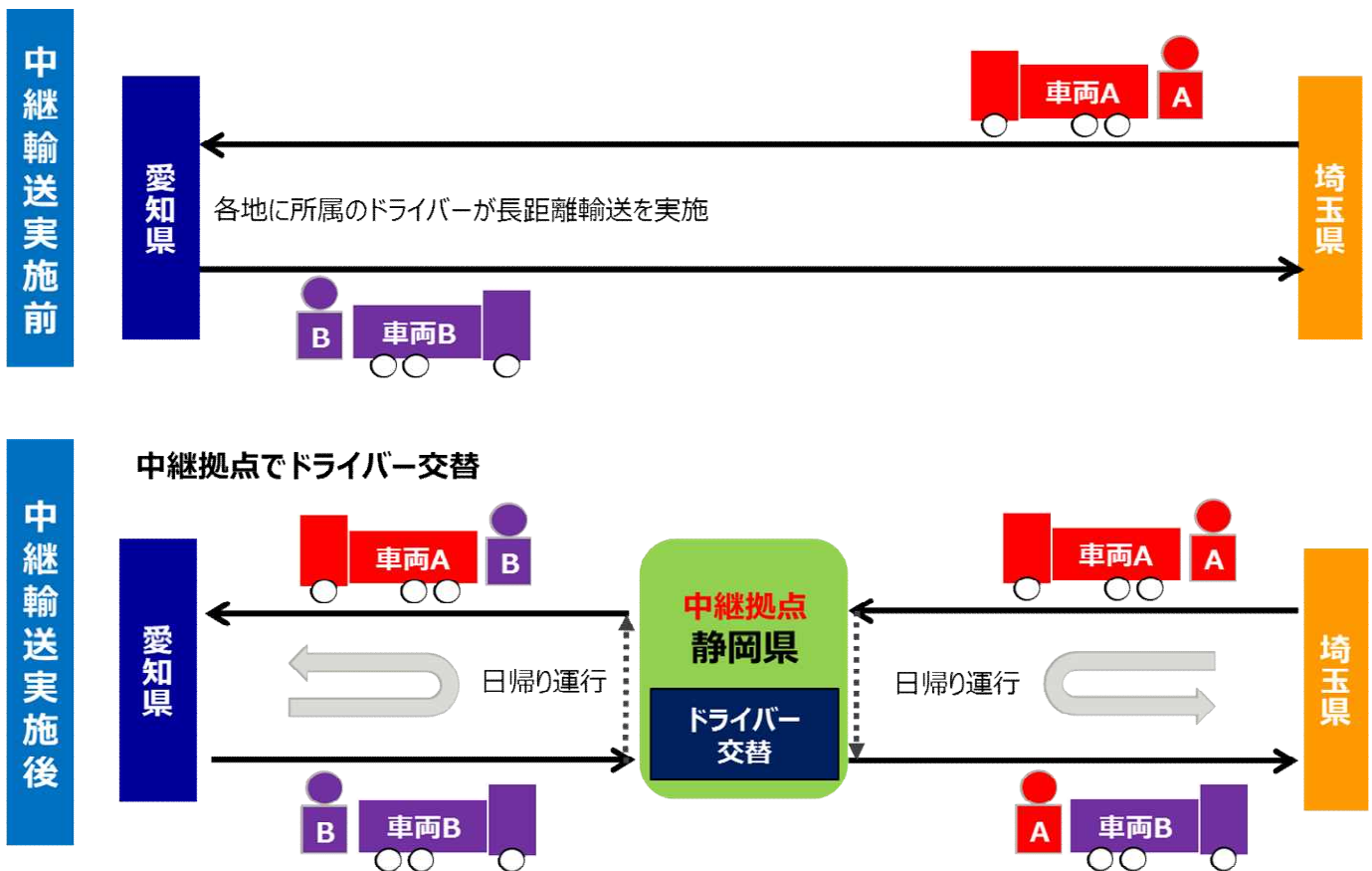
① 佐賀県⇔広島県⇔兵庫県 大型トラック使用



② 兵庫県⇔静岡県⇔埼玉県 21mフルトレーラー使用(中継輸送導入後)



③ 愛知県⇔静岡県⇔埼玉県 大型トラック使用



3. 取組みに向けた課題

ドライバーを長時間拘束することによるドライバーへの負担が大きく、慢性的なドライバー不足となっていた。

そこで、ドライバー不足解消のためにドライバーの雇用促進が必要であった。

4. 中継輸送の導入効果

中継輸送の実施によって、ドライバーの拘束時間が短縮され、毎日自宅で休息できるようになり、ドライバーの負担を大幅に削減。

中継輸送によって、労働環境が改善され、ドライバーの雇用促進につながった。